

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年 3月12日

事業所名:児童デイサービス太陽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋ごとに役割を決め、気持ちを整えるように工夫しています。	11	4	0	指定基準の一人あたり2.47㎡は確保していますが、手狭に感じるのは事実です。配置や収納を工夫し、のびのび過ごせるように努めてまいります。
	2	職員の適切な配置	現在職員は、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員4名、指導員2名合わせ7名が在籍しております。日々、指定基準に基づき配置しています。	13	2	0	送迎等で職員数に変化があります。一人一人が責任を持ち支援させていただいています。また、送迎中も事故がないよう、複数で対応する場合があります。安心してご利用いただけるよう、必要な増員など今後も行なっております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関やトイレには手すりを設置し、安全に使用できるように努めています。	10	5	0	事故や怪我をしないように日々努めています。完全ではありませんが、今後も検討を重ね、安心していただけるよう努めてまいります。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	手洗いの徹底、ペーパータオルの使用、布巾の交換など、清潔に保てるように努めています。	/			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員参加でミーティングはできているが、もっと意見がでて支援に繋がっていくようにします。	/			
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	取り組めていないが、外部評価の項目などを確認し改善を行っていきます。	/			
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	時間が取れず、研修機会は少ないですが、事業所内でできる研修を増やしていきます。	/			
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもと保護者の希望を確認し、相談支援員からのサービス利用計画を確認後、児童発達支援管理責任者が原案を作成しています。その原案に対し、職員からの意見を入れ作成しております。	15	0	0	今後も継続して行なっていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成をしています。	/			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	放課後等デイサービス計画には、支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を明記しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の意見や実際の子どもの様子等を見て変更をする場合もありますが、計画に沿って適切に行なっています。子どもの個人ファイルに各自入っているのでも確認できるようになっています。				
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	一辺倒ではありますが、案は出し合えています。変更が苦手な子もいるので、しっかり話し合い進めていきたいと思っています。				
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節ごとに楽しむことが違うのでその辺もしっかり話しあい、共通認識を思って支援に繋げていきたいです。				
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化しているからこそ安心して続けられている場合があるので、一概には言えませんが、次の段階へチャレンジをしたりしています。形が変わっても問題なく取り組めるように工夫しています。	14	1	0	子ども第一で考えています。楽しい事、好きな事を一つでもみつけていきたいと考えています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日支援開始前に職員全員が集まり、担当送迎やおやつ、支援内容、最近の様子、送迎の際に保護者から聞いたことなど、話し合い確認しています。				
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後はどうしても、時間が足りなく難しい場合があるので、スタッフ用の連絡ノートに記入するなど、記録で共有化を進めていきます。				
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援を個別記録に記録しています。子どもの成長過程や現状を把握でき、支援の検証や改善に繋がっています。				
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施しています。モニタリング結果をふまえ放課後等デイサービス計画の見直しを行なっています。				

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容			
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者や児童指導員が必ず参加しています。会議内容は職員へ周知支援に繋げています。						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施							
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備							
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて、各事業所との情報交換、共有、連携を行なっています。						
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて、各事業所との情報交換、共有、連携を行なっています。						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて対応しますが、現在支援センター等の専門機関と連携をとった利用者はいません。専門機関での研修は参加させていただいています。						
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	意図した交流ができていません。課題とし今後考えていきます。			0	10	5	事業所として何ができるのかをしっかりと考え、行動に移していきたいと考えています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	散歩ルートのご近所さんなど少しずつ輪が広がっていますが、招待などはできていません。課題とし今後考えていきます。						

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。負担額の変更があった場合、上限管理が変更となった場合など必要に応じて説明しています。	14	1	0	丁寧な説明を心がけていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	日々の送迎等でも説明する場合があるので支援計画を常に示しながら説明はできていません。面談の時に説明させていただいています。				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者から相談があれば一緒に考えて、支援しています。				
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の送迎等で保護者に様子や支援内容をお伝えさせていただいています。連絡帳や電話、メール等を通して共通理解に努めています。	15	0	0	今後も継続して行なっていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談や助言は保護者が希望した場合に応じています。普段の面談より時間が多く取れたり、より深く知るきっかけになり、こちらにもありがたいと思っています。	15	0	0	今後も継続して行なっていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、開催できておりません、今後の課題だと考えます。	0	7	8	事業所として何ができるのかをしっかりと考え、行動に移していきたいと考えています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口は契約書に明記しています。対応体制の整備も整っていますが、周知が不十分だと感じています。	9	6	0	周知をさせていただきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもに対しては保護者にアドバイスをもらいどうしたらいいかと個々にご相談をさせていただきながら支援しています。	14	1	0	一人ひとりに向き合い、不安に思われないように努めていきます
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、「たいよう通信」という活動内容を記載した会報を発行しています。子どももみて楽しめるものであると思います。	14	1	0	いろいろな媒体を利用し活動に理解を得て頂ければと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取扱いには十分な配慮をしています。情報の保管場所は鍵付きのロッカーに保管しています。	15	0	0	今後も継続して行なっていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種対応マニュアルは用意してあります。周知ができていないので今後行っていきます。	6	8	1	周知させていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練は実施していますが、頻度が低いので、課題としています。	8	6	1	頻度を増やし、安心してすごせるように努めていきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	新しいスタッフへの研修が不十分であるので、定期的に研修を行いたいと思います。	/			
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていません。必要があれば説明を行い、それに伴い、職員への研修を行います。	/			
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師からの指示書はありませんが、保護者から聞き取りを行い十分に注意を払っています。子どもが飲んでいる薬がかわった時などは、飲み合わせも含めて調べています。	/			
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告書は作成しています。共有をし、お互いに再度意識することになっています。	/			